

【連載】市民活動法人(NPO)を訪ねて●23
 ～あなたのまちのNPO、わたしのまちのNPO～



左が江田雅子事務局長

特定非営利活動法人

ぐらす・かわさき

「賭けない・飲まない・吸わない」
 をモットーに、毎週金曜日は健康麻雀

話をうかがった人

江田雅子さん NPO法人ぐらす・かわさき事務局長

取材構成 **伊藤久雄** 東京自治研究センター事務局長

健康麻雀がブームになりそうな予感がする。

最近、多摩地区で配布された「アサヒタウンズ(2月16日発行第1668号)でも紹介されている。日本健康麻将(マージャン)協会が自治体から施設を借りて開催しているだけでなく、品川区、杉並区など、自治体自身の事業として開催するところもある。立川市も2006年度から始めるそうである。今回訪問した特定非営利活動法人(以下、NPO法人)ぐらす・かわさきは、NPOとして健康麻雀をやっている。

そんなに面白いの? というわけである日の午後、小田急線向ヶ丘遊園から歩いて7、8分、登戸駅からでも10分足らずの「登戸東通り商店街」にある“地域のたまり場・遊友ひろば”を訪ねることになった。

■そもそも健康麻雀って何だ?

健康的な麻雀って何だ? 「賭けない・飲まない・吸わない」麻雀? そんなところに人が集まるの? いろいろな疑問が湧くのだが、日本健康麻将協会のホームページには、次のような紹介・案内が掲載されている。

日本健康麻将協会は1988年の設立以来、さまざまな方々のご協力のもとに賭けないマージャンの楽しさ、素

晴らしさを伝えてきました。

とかく悪いイメージのつきまとうマージャンですが、頭脳ゲーム、コミュニケーションツールとして考えると無限の可能性を持つものです。

近年では高齢者の介護予防として手さきと頭を使うマージャンが人気を集めてきており、私たちが提言してきた「賭けない・飲まない・吸わない健康麻将」を開催している会場も90箇所以上になりました。

なかには行政(品川区)が主催となって高齢事業の一環として健康麻将を開催している会場もあり、これから

の麻将人口の増加とマージャンに対するイメージアップが期待されています。

私たちが今まで以上、よりいっそうの多くの人々に麻将を楽しんでいただけるよう様々な事業を通じて麻将のすばらしさを伝えていきたいと考えております。

とコミュニティ機能（「遊友ひろば」）のスペースとに分けられている。遊友ひろばを拠点とした事業は、「空き店舗コミュニティ施設活用事業」と呼ばれて、川崎市・神奈川県・国から合計約300万円の助成（全体事業費の3/4）を受けている。（図1「ぐらす・かわさきの事業」参照）

■NPO法人ぐらす・かわさきの事業

NPO法人ぐらす・かわさきの発足は、2001年6月。その活動のコンセプトは、設立趣旨によれば次の3点である。

1. 市民が集い、交流する場をつくり、講座・交流会やイベントなどを開催する。
2. 問題解決のために市民が必要な情報を集める。その情報を市民が使いやすい情報にして発信する。
3. 市民自身が主体的に問題を解決していくことをめざし、その活動を後援する。

その活動の拠点が「登戸東通り商店街」の中にある空き店舗を活用し、改装して設けた「遊友ひろば」だ。ここは、以前はお好み焼き屋であったところで、事務所機能のスペース

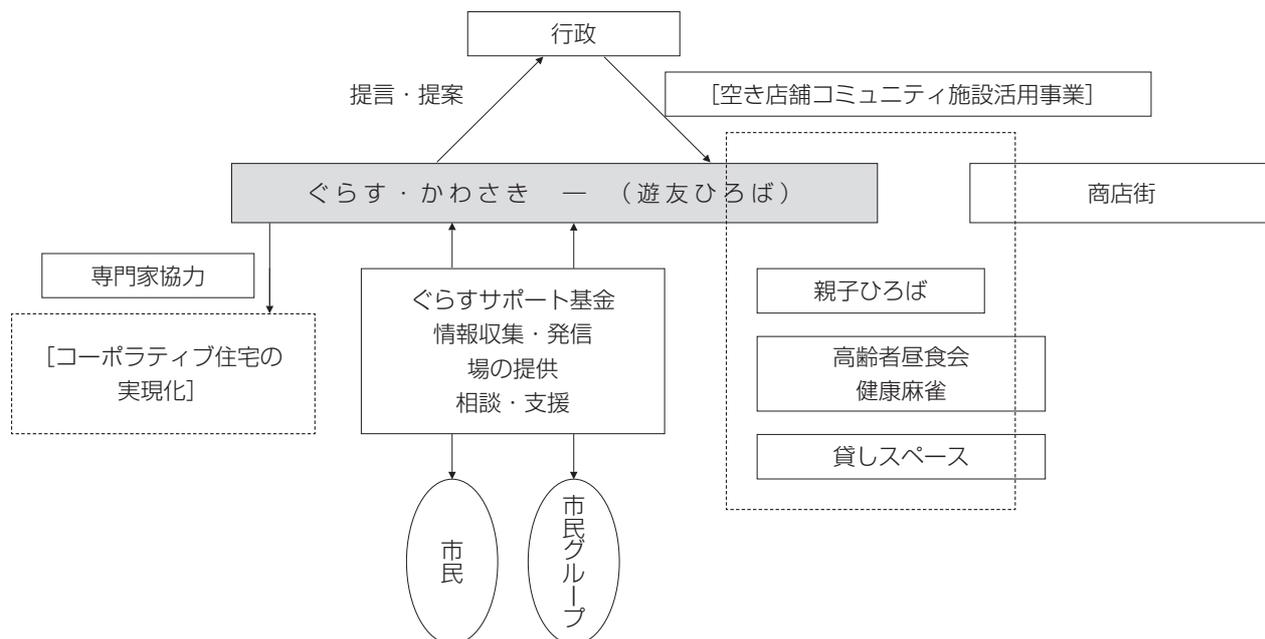
■遊友ひろばの運営

ぐらす・かわさきの事業の中心が遊友ひろばであり、健康麻雀はその事業の1つである。遊友ひろばは「地域の縁側をつくろう」を目的に、4つの場づくりをめざしている。

- ☆多世代交流ができる場
- ☆多くの人との関係性の中での子育て、
子育てができる場
- ☆誰もが立ちよれ、人との出会いが持てる場
- ☆地域の力、市民の力をお互いに育てあえる場

このうち、誰もが立ちよれ、人との出会いが持てる場は、「子育て中の親や1人暮らしの人など、孤立しがちな人たちの居場所」がイメージされている。今年3月のスケジュール（図

図1 ■ぐらす・かわさきの事業



2参照) をみると、より具体的、詳細な活動の実態が分かるであろう。

■明るく、楽しく、きれいで、女性が多い、健康麻雀

さて健康麻雀である。現在、ぐらす・かわさきの健康麻雀登録者は80人もいる。しかも横浜市はともかく、藤沢市からやってくる会員もいるという。いつもは毎週金曜日に、朝10時から午後3時までの長丁場を、4卓で行っている。今年初めて新春麻雀大会をやったら、4卓では間に合わず、6卓になったそうである。

今回の訪問時も、4卓勢揃い。笑い声が絶えず、とにかく



図2 ■遊友ひろば3月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		11:00~15:00 昼食会 ★15:00~18:20 絵画教室	10:30~15:00 親子ひろば ★15:30~17:30 登戸デポー	10:00~15:00 健康麻雀 ★15:00~19:00 リトミック		★10:20~14:20 わらべうた
6	7	8	9	10	11	12
10:30~15:00 親子ひろば ★16:00~18:00 ひまわりのたね	★10:00~12:00 気功の会 ★13:00~16:00 初心者麻雀教室	15:00~18:00 絵画教室	10:30~15:00 親子ひろば ★16:00~18:00 ひまわりのたね	10:00~15:00 健康麻雀	★13:00~16:00 カルチャー青葉 ★18:00~21:00 多摩クリスチャン	
13	14	15	16	17	18	19
10:30~15:00 親子ひろば	★10:00~12:00 気功の会 ★13:00~16:00 初心者麻雀教室 19:00~理事会	11:00~14:00 昼食会 ★15:00~18:00 絵画教室 18:30~サポート 基金ワークショップ	10:30~15:00 親子ひろば ★16:00~18:00 ひまわりのたね	10:00~15:00 健康麻雀 ★15:00~19:00 リトミック	★10:00~12:00 たまたま子育て ネット定例会 ★14:00~18:00 川崎の定時制高校 を守る市民の会	
20	21	22	23	24	25	26
10:30~15:00 親子ひろば ★16:00~18:00 ひまわりのたね	(休み)	★15:00~18:00 絵画教室	10:30~15:00 親子ひろば ★16:00~18:00 ひまわりのたね	10:00~15:00 健康麻雀	★13:00~16:00 カルチャー青葉	
27	28	29	30	31	★は貸しスペースの活動	
10:30~15:00 親子ひろば	★10:00~12:00 気功の会 13:00~16:00 初心者麻雀教室		10:30~15:00 親子ひろば	10:00~15:00 健康麻雀	カルチャー青葉は麻雀サロン	

賑やかなのだ。それもそのはず、会員の7割は女性で、この日も半数は女性であった。

ぐらす・かわさきでは、初心者麻雀教室も開いている。この教室には日本健康麻将協会からレッスンプロが1人指導にくる。レッスンプロは日本健康麻将協会が資格を認定しているものだが、たくさんの女性が会員になるのもわかるような気がする。

日本健康麻将協会の案内にもあるように、高齢者の介護予防になるだけでなく、実は若年性認知症も支援グループがここ遊友ひろばを借りて麻雀をやっていることでわかるように、認知症の進行を遅らせる効果もある様子なのだ。

金曜日の麻雀も初心者教室も、1日1500円は安い!!

とにかく健康麻雀には、かつての学生やサラリーマンがめかけた雀荘のイメージはない。その雀荘でも健康麻雀を始めたところもあるそうだ。みなさんも、自治体広報誌などで誘いがあったら、参加してみてもはどうだろうか。

■ 財政も今後5年は大丈夫

実は20年前に家族を亡くされた方が寄付先を探しておられ、ちょうど5年前、ぐらす・かわさきの理念に賛同されて寄付されたのだそうである。その時、その寄付金を10年間

で使い切ろうということになり、現在の事業体系をつくったのだとか。

だから、「この先5年は大丈夫です」と江田さんはにこやかである。スタッフは4人。常勤に換算すると2.5人になるそうだが、3月のスケジュールをみれば分かるように、遊友ひろばはほとんど目一杯使われている。おそらく、5年後も財政的にも安定して事業を継続できるのではなかろうか。

〈取材を終えて〉

ぐらす・かわさきは、「サポート基金」などのユニークな事業もやっているが、今回の趣旨は健康麻雀だったので、その他の事業紹介は割愛した。ぜひ、ホームページを覗いてみることをおすすめする。商店街活性化に一役買う、NPOの活動展開の典型例がここにある。

NPO法人 ぐらす・かわさき

〒214-0014 川崎市多摩区登戸2258 ハウス911

TEL : 044-922-4917 FAX : 004-922-4919

e-mail : grasskawasaki@oregano.ocn.ne.jp

<http://www.grassk.org/>